

## ヘマチンについて…使用目的

### 1.還元ストップ=残留アルカリの除去

似たようなニュアンスですが…

ヘマチンの還元ストップについてはそれなりに効果があると思いますが、構造的にそれほど強いものではないので、1液を流した後の残留還元剤の除去として考えたほうが良いと思います。…と報告がありました。

### 2.酸化時の架橋性を高める=

pHは少しずつ下げていくのが理想

\*pHの無理な振りすぎは毛髪に負担をかける

2液前は5～6くらいになっていたほうが2液の効率はあがります。これは、酸としての効果なので、ヘマチンの効果とは別の話です。

\*ヘマチンそのものには毛髪の修復力は有りませんが、事前にケラチンなどが投入されている場合は、ヘマチンによって毛髪のケラチンと絡みやすくなります。

水洗後に濃度を下げたヘマチンを塗布しておく、2剤での、特に過水2剤の場合は酸化反応を高め、-SS-結合に大きく関与する事は考えられます。

\*ちなみに、pHを落とす緩衝作用はキットベールの方に

入っているので、キットベールとの併用でじょじょにpHを落としていくことがのぞましいです。

ストレートの場合、中間水洗時にS-Sの再結合が起こるので、伸ばすという点ではヘマチンは2液の後が良いかもしれない。(メーカー談)

### 3.投入したPPT関係の流失を防ぐためのチョットした絞めです。

収斂するとしまりが出ることがありますが、グロスフィールはあまり酸度が高くないので、収斂効果は高くないと思います。

ヘマチンを塗布するとしっかり感が出るので、硬く感じたりしまった感じがするのかもしれませんが

\*事前ケラチンが有るときは、被膜形成しますので、流出防止にはなるかと思えます。収斂ではなくて、やや硬化に近いニュアンスかも知れません